

資料編 2

地域コミュニティ(町会・自治会活動等)に関する

アンケート調査結果報告書

(調査対象者：町会・自治会加入世帯及び未加入世帯)

地域コミュニティ（町会・自治会活動等）に関するアンケート調査 目次

第1 調査の目的と概要

1 調査の目的	1
2 調査の項目と調査方法	1
(1) 調査項目	1
(2) 調査方法	1

第2 町会・自治会へのアンケート調査結果

町会・自治会活動	2
(1) 加入状況	2
(2) 活動状況	6
(4) 活動の問題点	12
コミュニティ活動	16
(5) 活動状況	16
(6) 活性化の必要性	20
(7) 組織、形態	25
(8) 行政への期待	29
(9) 協力や参加	31
(10) コミュニティ振興に関する意見	32

第1 調査の目的と概要

1 調査の目的

市には、34 の町会・自治会があり、市と住民の間をつなぐ草の根の自治単位として、地域社会で重要な役割を担っています。各町会・自治会では、住民の方々に地域への関心を持っていただき、様々な地域活動に主体的にかかわっていただくよう地域活性化に取り組んでいます。

この調査は、町会・自治会等地域コミュニティに対する意識と実態を把握し、今後の地域活性化の基礎資料とするために調査を実施したものです。

2 調査項目と調査方法

(1) 調査項目

ア. 町会・自治会活動

- ・ 加入状況
- ・ 活動状況
- ・ 活動の問題点

イ. コミュニティ活動

- ・ 活動状況
- ・ 活性化の必要性
- ・ 地域の範囲
- ・ 組織、形態
- ・ 行政への期待
- ・ 協力や参加
- ・ コミュニティ振興に関する意見

(2) 調査方法

ア. アンケート調査

町会・自治会への加入世帯及び未加入世帯を、無作為に抽出してアンケート調査を行った。

対象：町会・自治会に加入している世帯及び未加入世帯

送付数： 1,000世帯

内訳 加入世帯 500世帯

未加入世帯 500世帯

有効回収数： 212世帯（回収率21.2%）

内訳 加入世帯 141世帯（回収率28.2%）

未加入世帯 71世帯（回収率14.2%）

調査期間：平成16年11月15日～12月10日

イ. 集計にあたって

調査結果は、設問ごとに全体の調査結果と年代別における結果を表しています。また「その他」の回答があった場合は、主な内容を記載してあります。

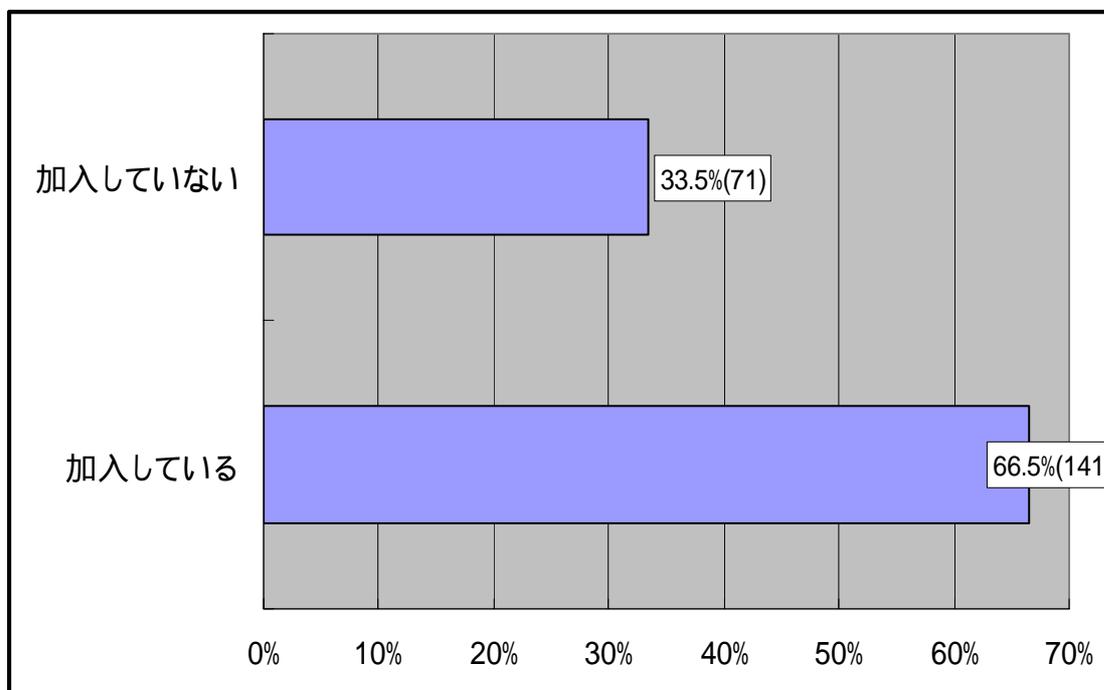
調査結果の数値は%で示し、()内に実数を併記しています。

数値は小数点第2位を四捨五入しているため、合計しても100%にならない場合があります。

設問により、複数回答の場合など、全回答件数が回収数(212)に一致しない場合があります。

町会・自治会の活動について伺います。

問1 町会・自治会に加入していますか。

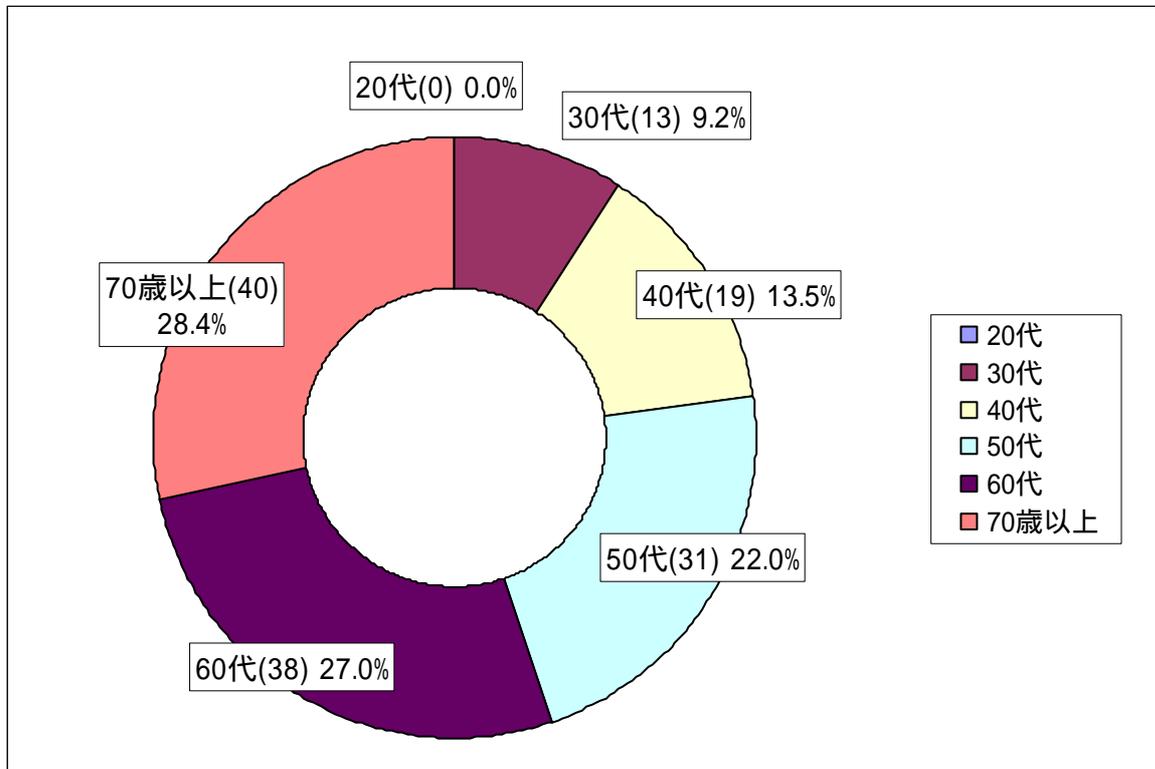


全回答数：212件

町会・自治会の加入割合について、「加入している」が66.5%、「加入していない」が33.5%となっている。

アンケート ～年代別における傾向～

問1 町会・自治会に加入していますか。

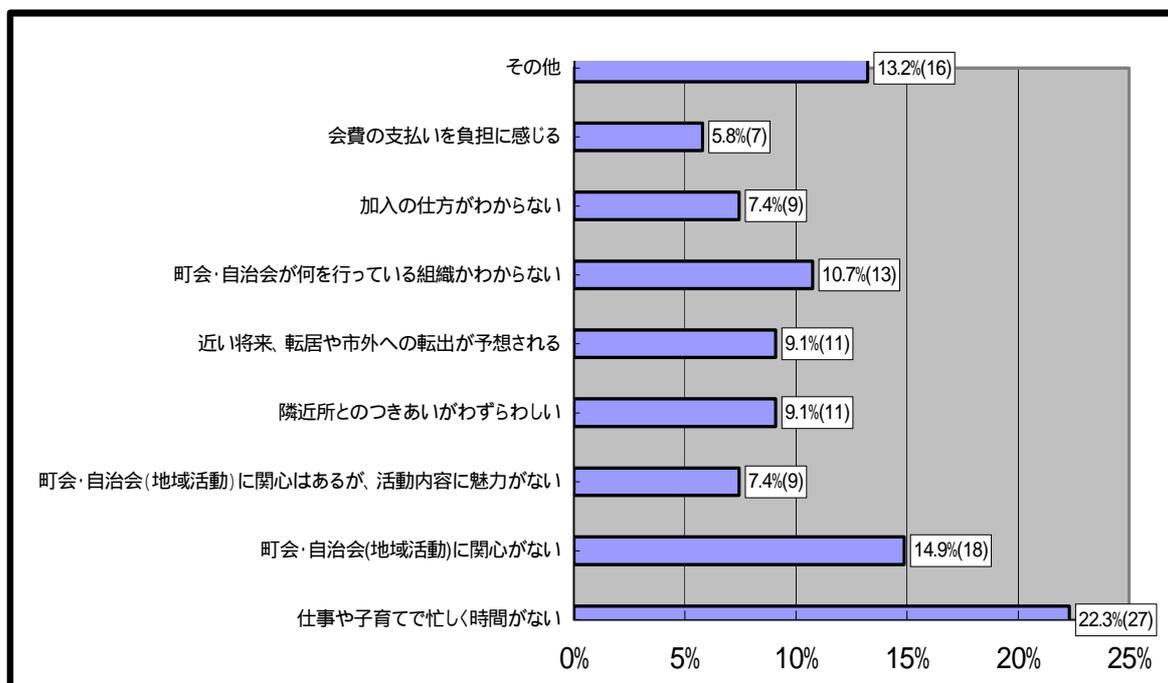


町会の加入率について年代別に見ると、70歳以上が28.4%と最も多く、次いで60代が27%、50代が22%の順となっている。

加入率の低いのは、40代の13.5%と、30代の9.2%である。

問1で「2. 加入していない」と回答した方のみお答えください。)

問2 町会・自治会に加入しない理由をお答えください。(3つまで)



全回答数：121件

町会・自治会の未加入の理由について「仕事や子育て等で忙しく時間がない」が22.3%で最も多く、次いで「町会・自治会(地域活動)に関心がない」が14.9%、「町会・自治会が何を行っている組織なのかわからない」が10.7%となっている。

また、「近い将来、転居や市外への転出が予想される」「隣近所とのつきあいがわずらわしい」がともに9.1%となっている。

《その他の主な内容》

回覧板なども回ってこないし、賃貸住宅の場合は行事などの誘いもないのでわからない。

マンションの住人が全員未加入なので、個人では加入していない。

アパートの住人は入れない。

加入すると、行事の参加を強要されるので。

全体が転居者のため。

未加入で必要を感じない。

組長が何年かに回ってくるが、家族が体調等悪く活動ができないから。

必要性を感じない。

高齢のため。

引っ越して一年、町会名が不明で場所もわからない。

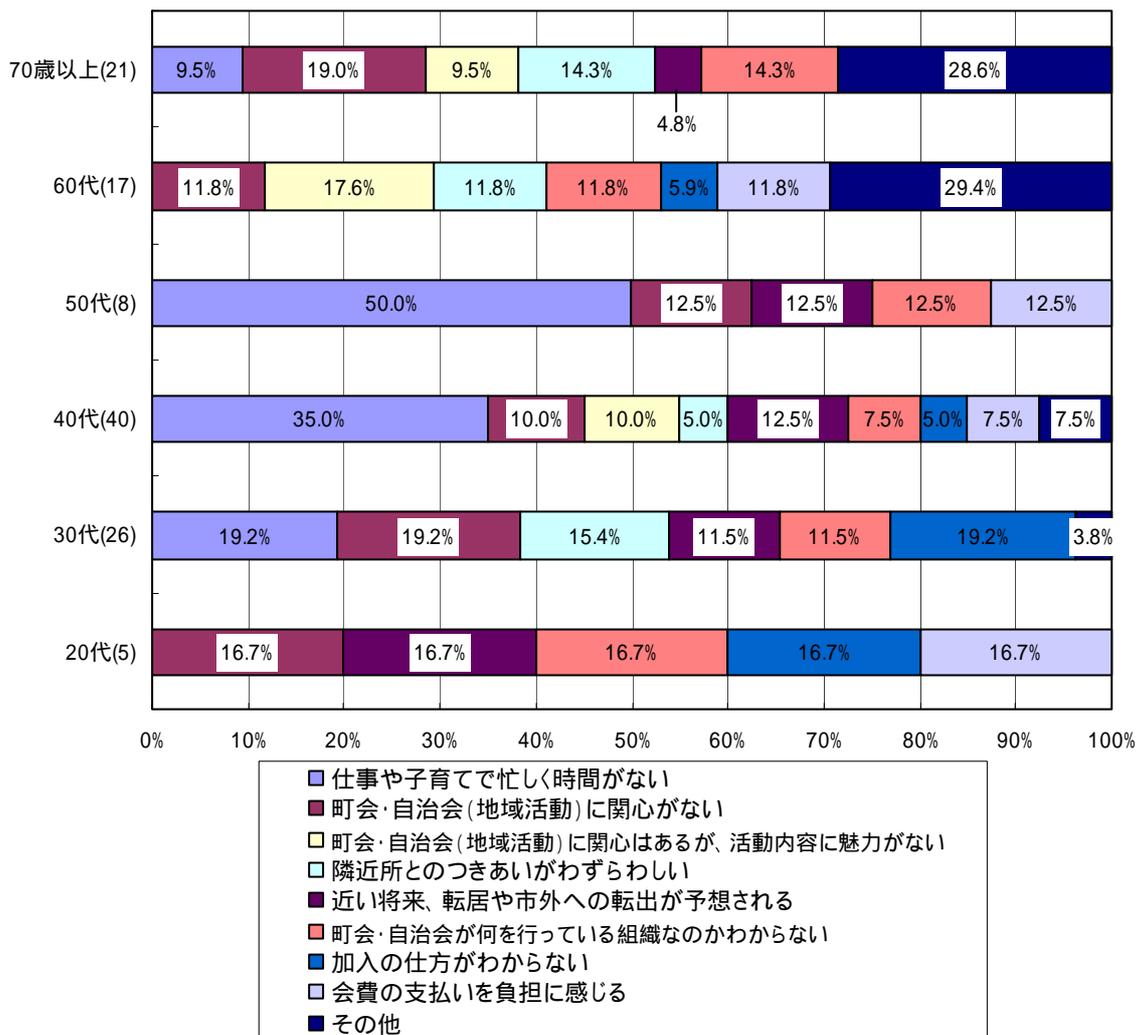
マンションの組合に町会から加入の話が来ない。

仕事の都合上会費だけ納めていたが、脱会してくれと言われたため。

アンケート ～年代別における傾向～

(問1で「2. 加入していない」と回答した方のみお答えください。)

問2 町会・自治会に加入しない理由をお答えください。(3つまで)



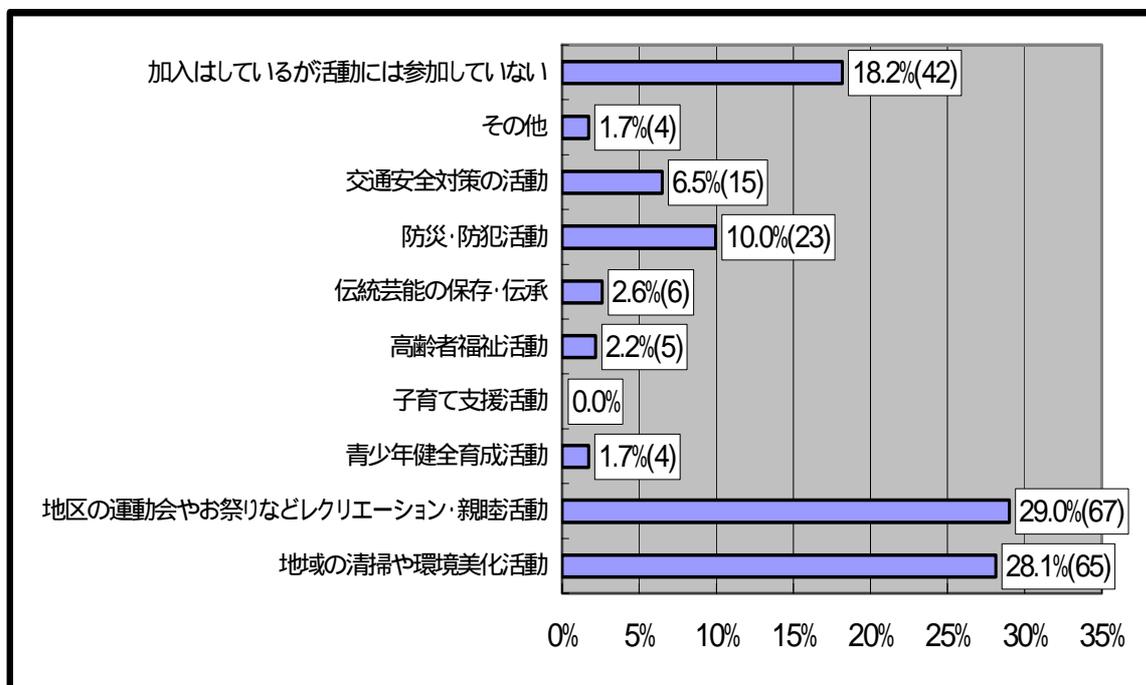
町会の未加入理由について年代別にみると、20代は、「町会・自治会に関心がない」「近い将来転居や市外への転出が予想される」「町会・自治会が何をやる組織なのかわからない」「加入の仕方がわからない」「会費の支払いを負担に感じる」がそれぞれ16.7%となっている。

30代は、「仕事や子育てで忙しく時間がない」「町会・自治会に関心がない」「加入の仕方がわからない」がそれぞれ19.2%となっている。

40代と50代は、「仕事や子育てに忙しく時間がない」がそれぞれ最も多い。

(問1で「1.加入している」と回答した方のみお答えください。)

問3 町会・自治会の活動の中で主に参加している活動は何ですか。(3つまで)



全回答件数：231件

町会・自治会活動の中で主に参加している活動について「地区の運動会やお祭りなどレクリエーション・親睦活動」が最も多く29%、次いで「地域の清掃や環境美化活動」が28.1%となっている。また、「加入はしているが活動には特に参加していない」は18.2%となっている。

《その他の主な内容》

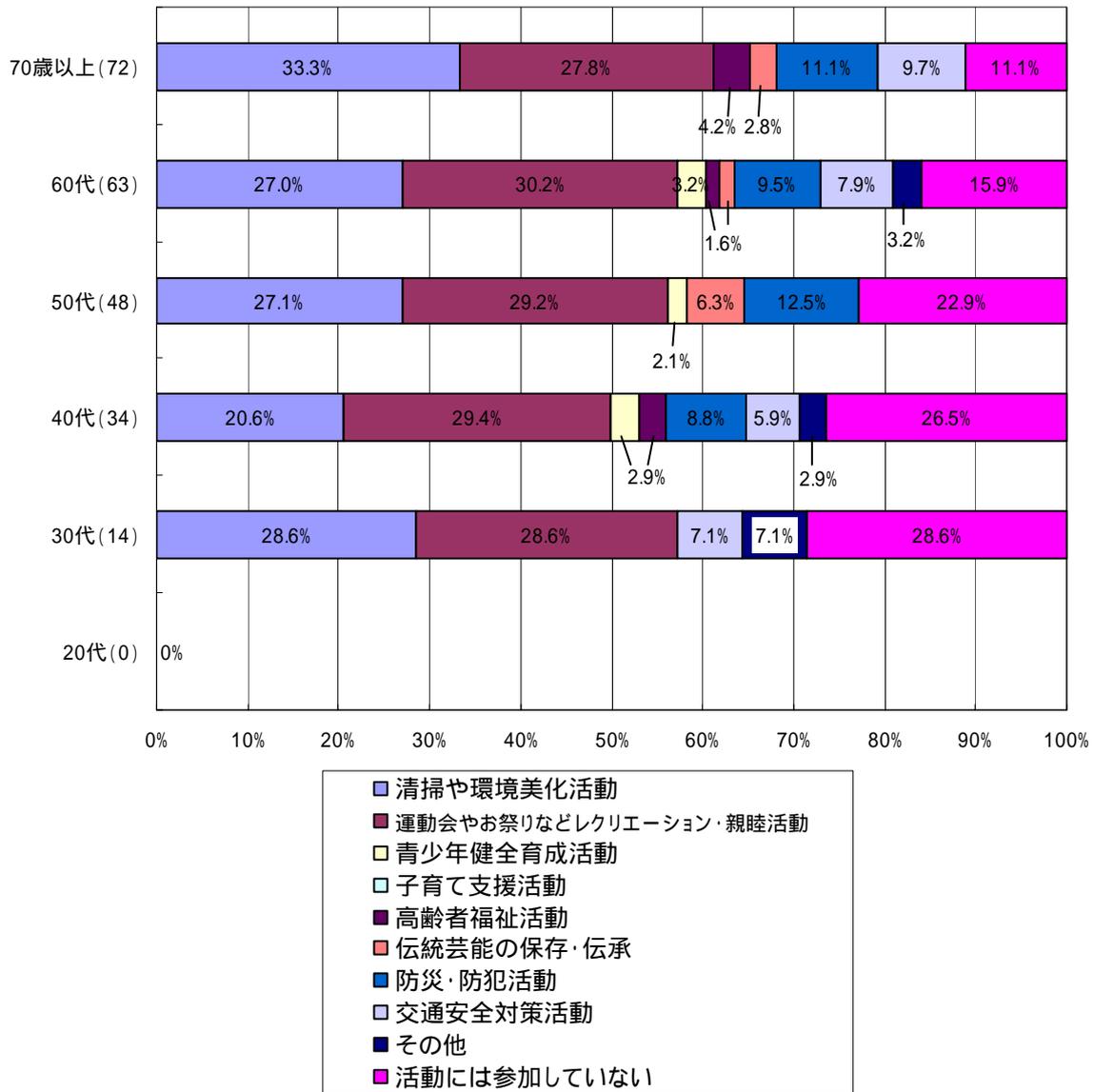
赤い羽根等の募金の協力

廃品回収

アンケート ～年代別における傾向～

(問1で「1. 加入している」と回答した方のみお答えください。)

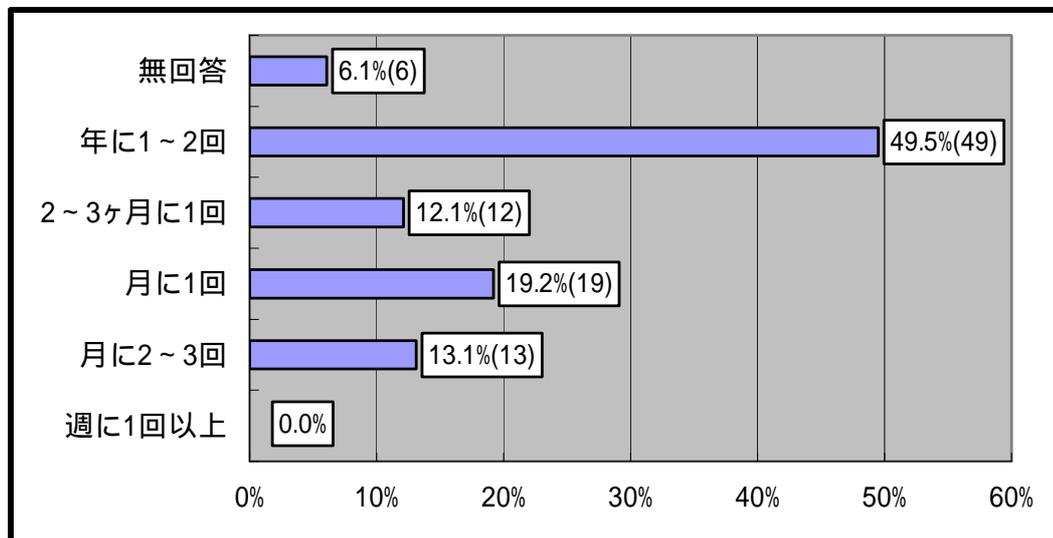
問3 町会・自治会の活動の中で主に参加している活動は何ですか。(3つまで)



町会・自治会の活動の中で、主に参加している活動について年代別にみると、各年代とも「清掃や環境美化活動」と「運動会やお祭りなどレクリエーション・親睦活動」が、活動全体の約半数を占めている。また30代、40代では「活動には参加していない」が、それぞれ28.6%、26.5%と他の年代に比べ多い。

(問3で、1～8と回答した方のみお答えください。)

問4 町会・自治会の活動には、どれくらいの頻度で参加していますか。



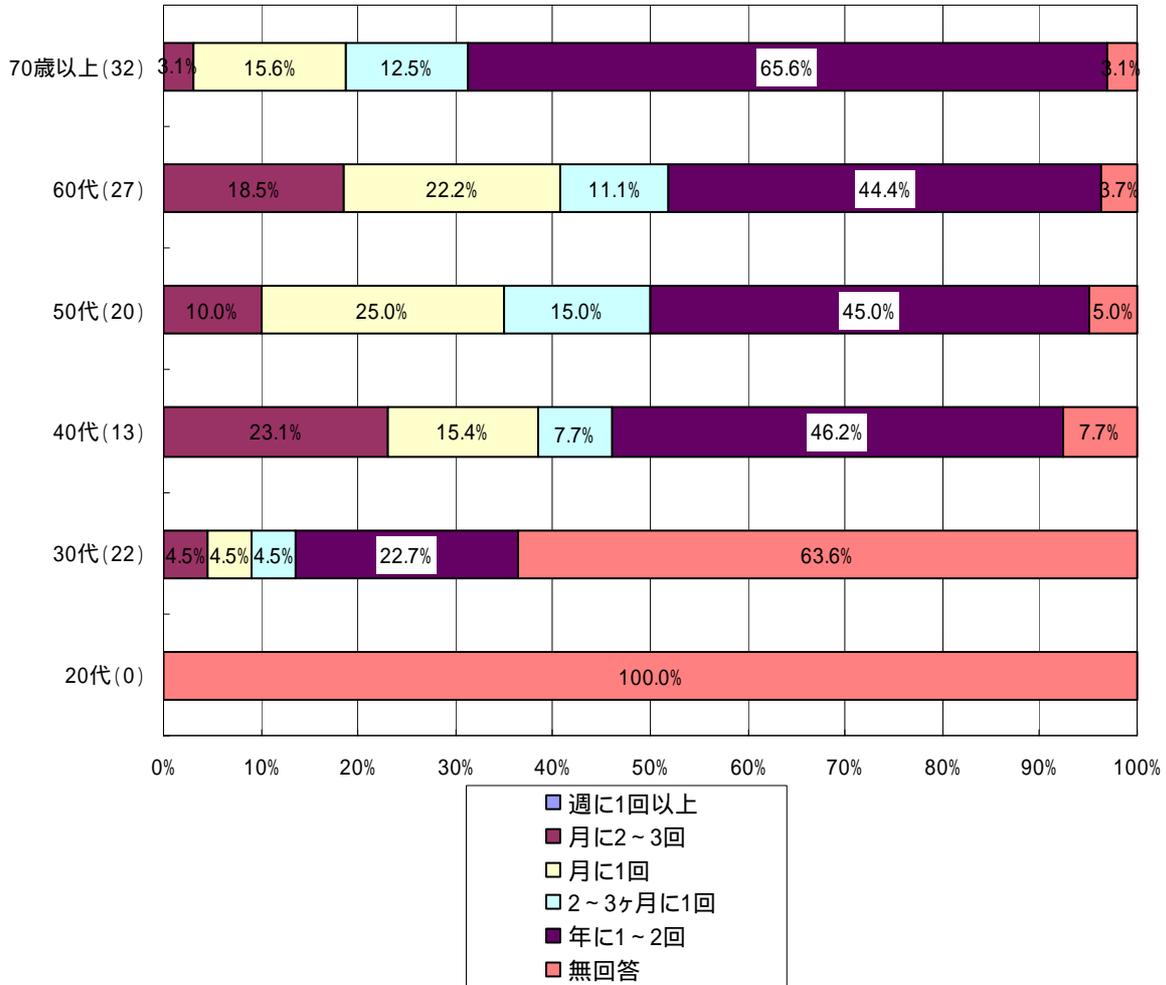
全回答件数：99件

町会・自治会活動の参加頻度について、「年に1～2回」が49.5%で最も多く、次いで「月に1回」が19.2%、「月に2～3回」が13.1%となっている。

アンケート ～年代別における傾向～

(問3で、1～8と回答した方のみお答えください。)

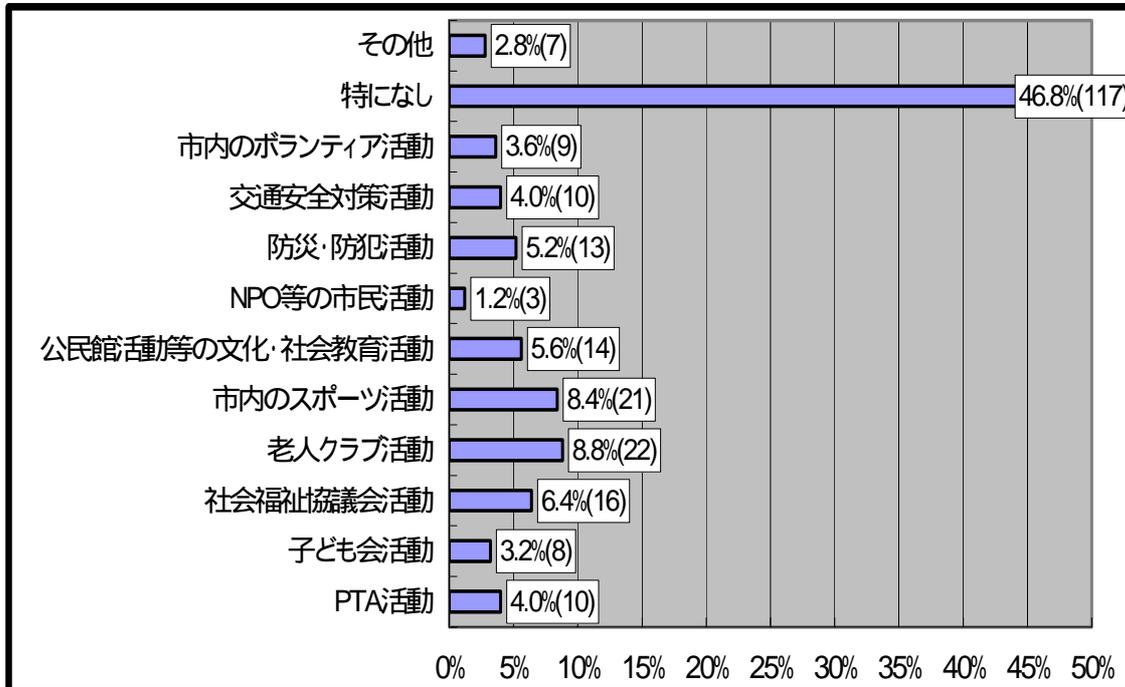
問4 町会・自治会の活動には、どれくらいの頻度で参加していますか。



町会・自治会活動の参加頻度について年代別にみると、20代、30代は「無回答」がそれぞれ最も多い。また、30代については活動をしている人はいるものの、その割合が他の年代に比べ全体的に低い。

40代以降では「年に1～2回」と「月に1回」が多くなる傾向にある。

問5 町会・自治会の活動以外で参加している地域活動は何ですか。
 (あてはまるものすべてに)



全回答件数 : 250 件

町会・自治会活動以外の地域活動の参加について「特になし」が46.8%で最も多い。参加している地域活動としては、「老人クラブ活動」が8.8%で最も多く、次いで「市内のスポーツ活動」が8.4%、「社会福祉協議会活動」が6.4%、「公民館活動等の文化・社会教育活動」が5.6%の順になっている。

《その他の主な内容》

学校評議委員

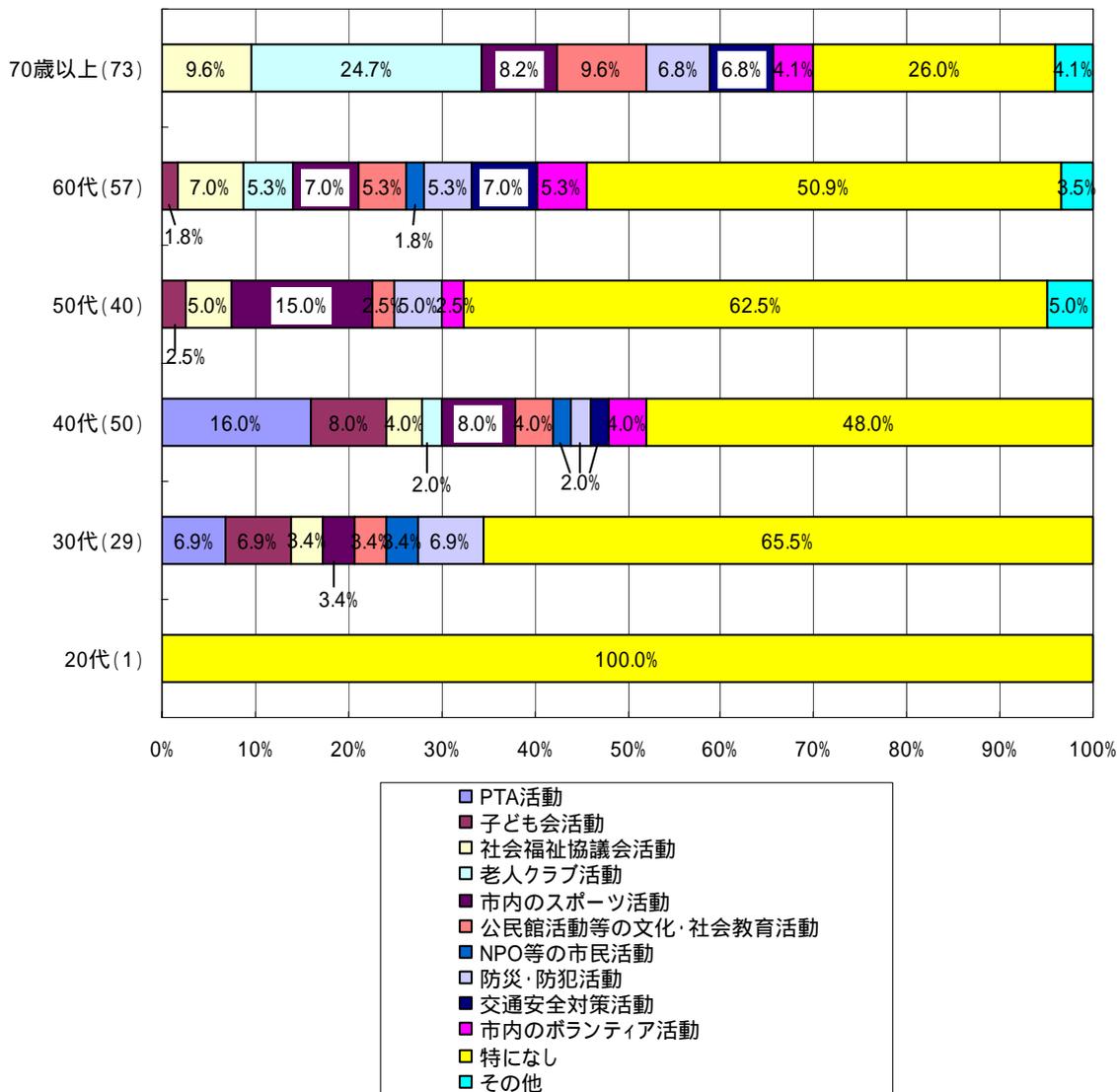
廃品回収

市内のボランティア活動をしたいと思っても年齢的に無理と思ってしまう。

仕事を持ち、留守にしていると何もわからない。

アンケート ～年代別における傾向～

問5 町会・自治会の活動以外で参加している地域活動は何ですか。
(あてはまるものすべてに)



町会・自治会活動以外の地域活動について年代別にみると、「特になし」が各年代とも非常に多い。

30代は「PTA活動」「子ども会活動」「防災・防犯活動」がそれぞれ6.9%となっている。

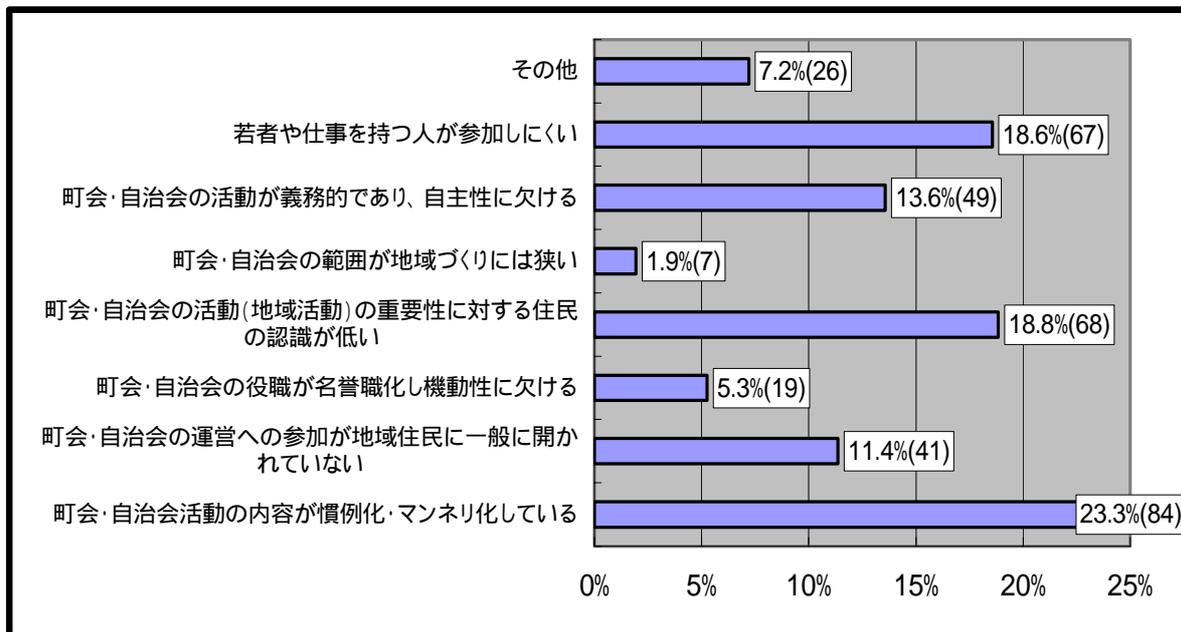
40代は「PTA活動」が16%、「子ども会活動」「市内のスポーツ活動」が、それぞれ8%となっている。

50代では「市内のスポーツ活動」が15%で、「特になし」の次に最も多い。

60代は「社会福祉協議会活動」「市内のスポーツ活動」「交通安全対策活動」がそれぞれ7%となっている。

70歳以上は「老人クラブ活動」が24.7%で「特になし」の次に最も多い。

問6 現在の町会・自治会の活動の問題点は何だと思いますか。(3つまで)



全回答件数：361件

町会・自治会活動の問題点について「町会・自治会活動の内容が慣例化・マンネリ化している」が23.3%と最も多く、次いで「町会・自治会活動（地域活動）の重要性に対する地域の認識が低い」が18.8%、「若者や仕事を持つ人が参加しにくい」が18.6%、「町会・自治会の活動が義務的であり、自主性に欠ける」が13.6%となっている。

〈その他の主な内容〉

町会・自治会活動の時間（行事）が多い。

昔から住んでいる人たち（地主）は新参者を受け入れない。

組織が閉鎖的で参加を強要するか、それに応じなければ仲間はずれにされるかという極端な部落意識に固まっている。

本当の意味の活動がされているか、また必要性があるのか。

役員の高齢化、若者のノンポリ化傾向。

町会行事が多く、組長になると大変。

管理組合として加入しているので、個人への情報が少ない。

加入率をあげるのだと思う。

体力的に参加しにくい。

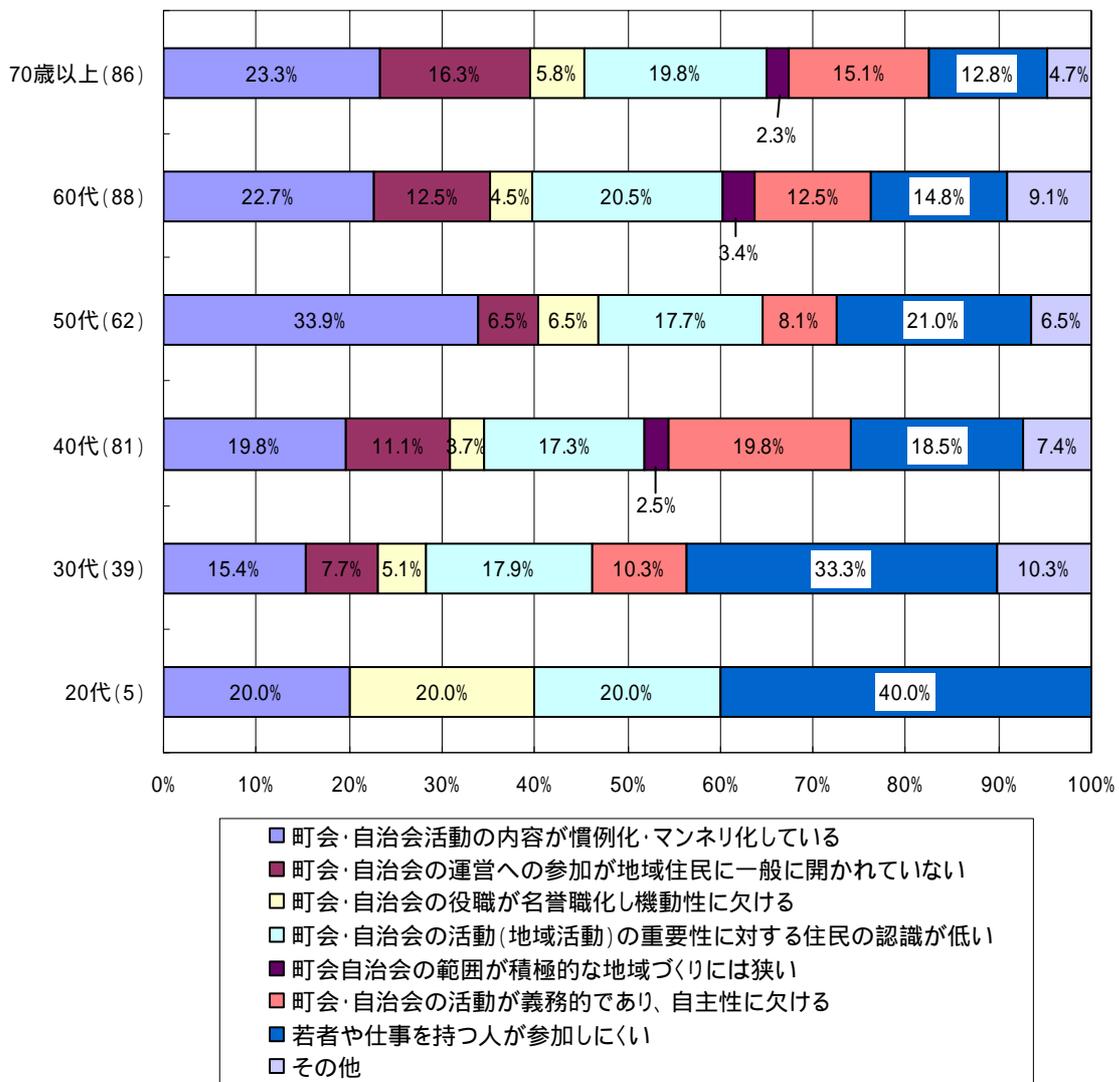
近所付き合いが希薄で、参加も気が進まない。

中心となって活動する人が決まってしまっている、または積極的に中心となって活動する人が少ない。

受け入れ態勢を強化しないと、新しい人の確保は難しいと思う。

アンケート ～年代別における傾向～

問6 現在の町会・自治会の活動の問題点は何だと思いますか。(3つまで)

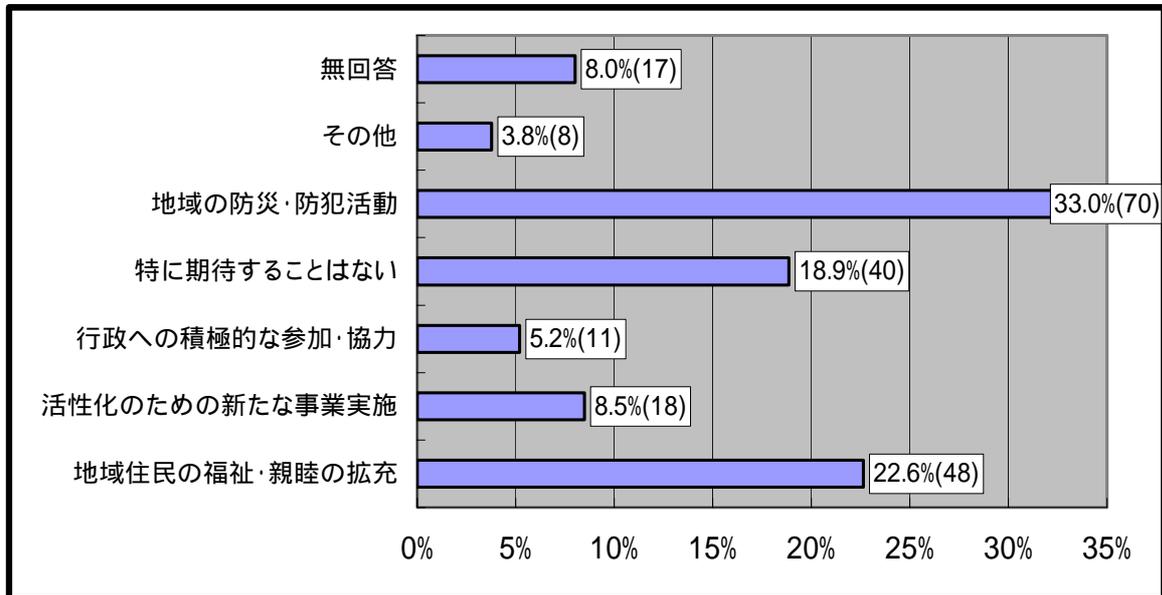


町会・自治会活動の問題点について年代別にみると、20代、30代については、「若者や仕事を持つ人が参加しにくい」が40%、33.3%とそれぞれ最も多い。

40代は「町会・自治会活動の内容が慣例化・マンネリ化している」「町会・自治会の活動が義務的であり、自主性に欠ける」がそれぞれ19.8%となっている。

50代以降は、「町会・自治会活動の内容が慣例化・マンネリ化している」「町会・自治会の活動(地域活動)の重要性に対する住民の認識が低い」がそれぞれ多くなっている。

問7 今後、町会・自治会の活動に特に期待することは何ですか。



全回答件数：212件

町会・自治会活動に期待することについて、「地域の防災・防犯活動」が33%で最も多く、次いで「地域住民の福祉・親睦の拡充」が22.6%、「特に期待することはない」が18.9%となっている。

《その他の主な内容》

行事が多すぎるため役を持ちたがらない。そのためサラリーマンが気軽に参加できる活動内容にして欲しい。

現状の反省と抜本施策の設定と実現。

定型的で進歩なく、特定な人が決まりきったことをしている。

地震等の災害に対する地域住民の協力態勢を具体的に話し合い、最低限のルール等を作り、周知を徹底する。

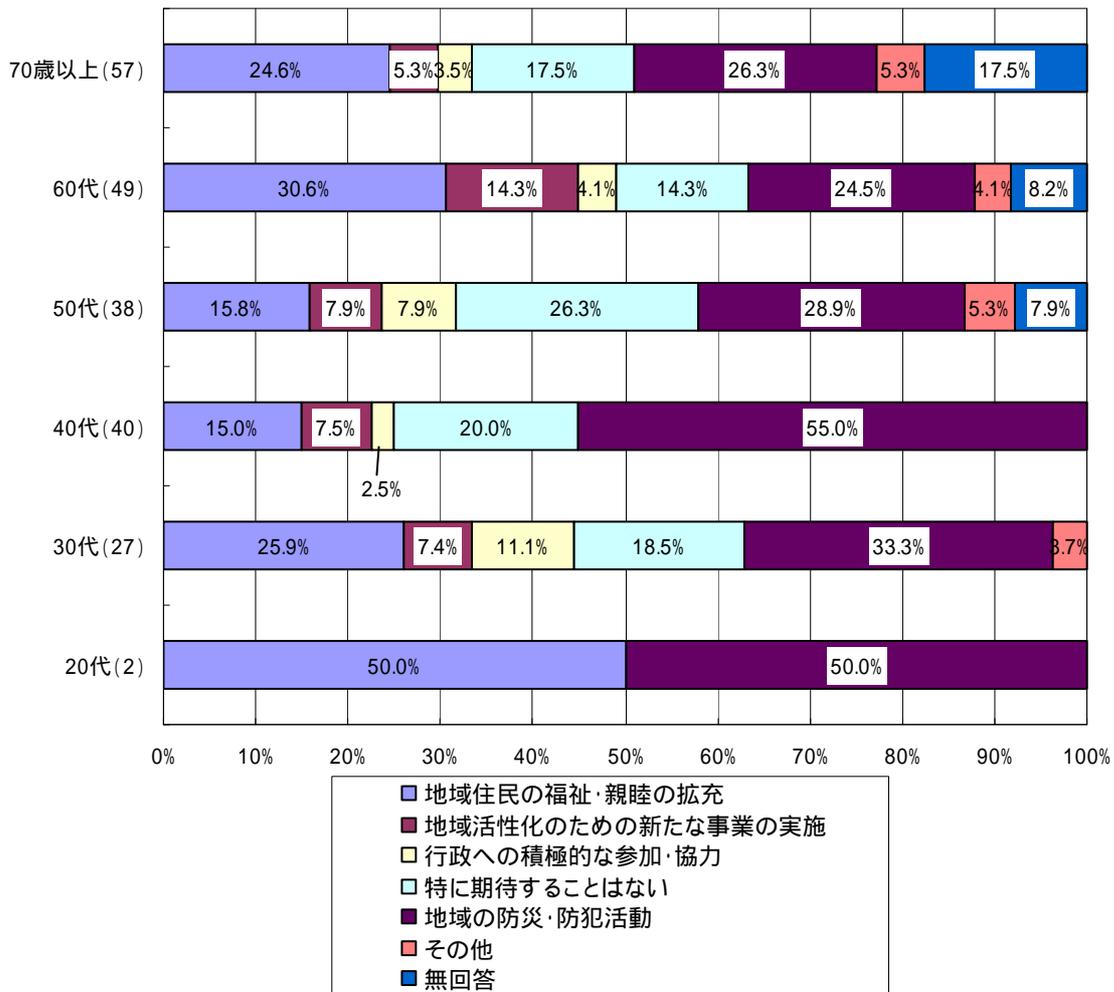
現行事への参加で精一杯なので、これ以上は望まない。

町会活動について、役員にまかせであまり参加をしてもらえない。

町会・自治会の活動が土日に行われることが多く、参加できない。

アンケート ～年代別における傾向～

問7 今後、町会・自治会の活動に特に期待することは何ですか。



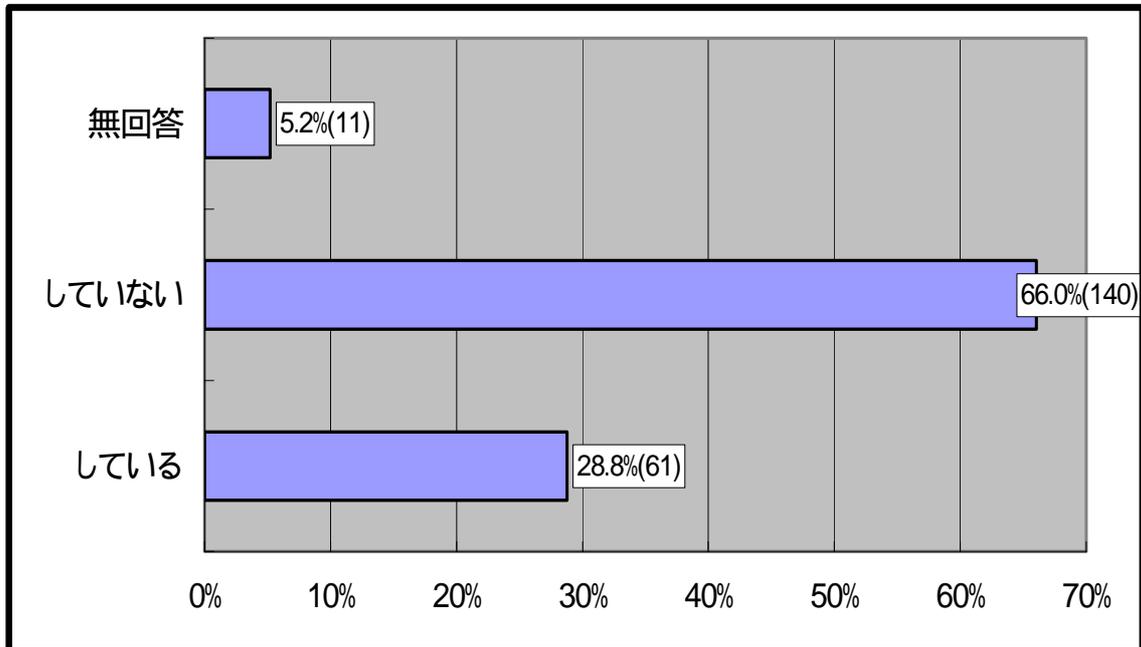
町会・自治会活動に期待することについて年代別にみると、20代、30代、60代、70歳以上では「地域の福祉・親睦の拡充」「地域の防災・防犯活動」がそれぞれ多い。

40代、50代では「特に期待することはない」が「地域の防災・防犯活動」の次に多くなっている。

60代では「地域の活性化のための新たな事業の実施」「特に期待することはない」がそれぞれ14.3%となっており、「地域の福祉・親睦の拡充」「地域の防災・防犯活動」の次に多くなっている。

コミュニティについて伺います。

問8 コミュニティ（集団）活動をしていますか。

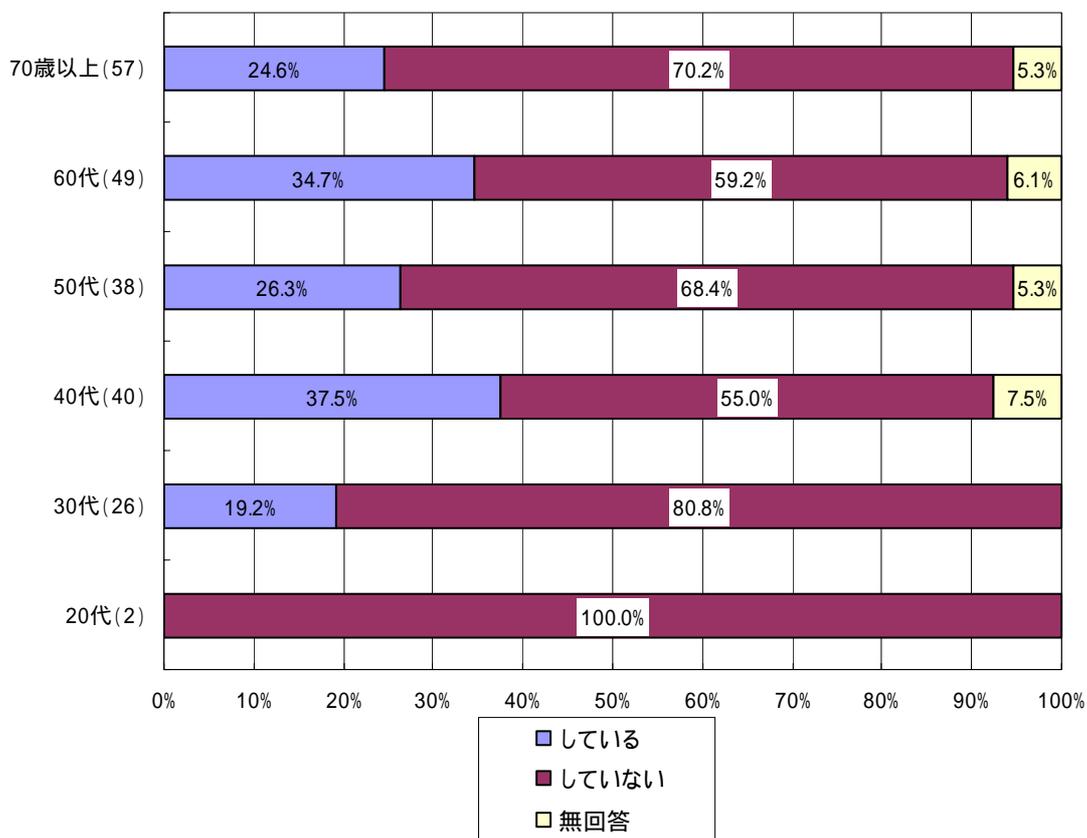


全回答件数：212件

コミュニティ（集団）活動について、「していない」が66%、「している」が28.8%となっている。

アンケート ～年代別における傾向～

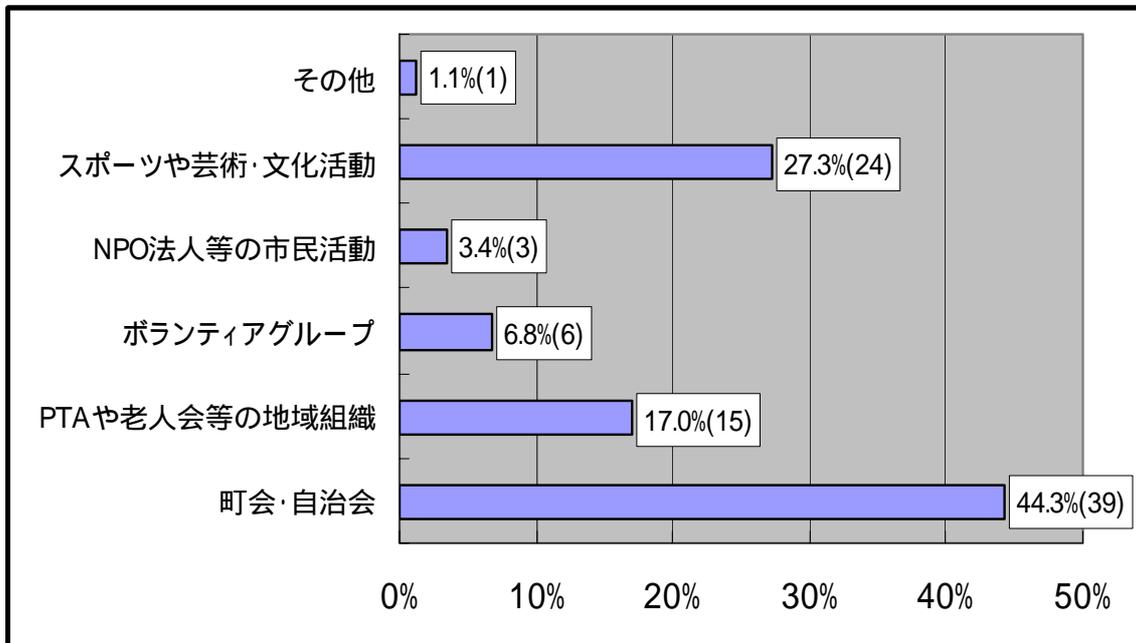
問8 コミュニティ（集団）活動をしていますか。



コミュニティ（集団）活動について年代別にみると、各年代とも「していない」が50%を超えている。

また、「している」と答えた中では40代が37.5%と最も多く、60代が34.7%、50代が26.3%となっている。

問9 問8で、1.しているとした方にお尋ねします。どのようなコミュニティ(集団)活動をしていますか。(所属しているものすべてに)



全回答件数：88件

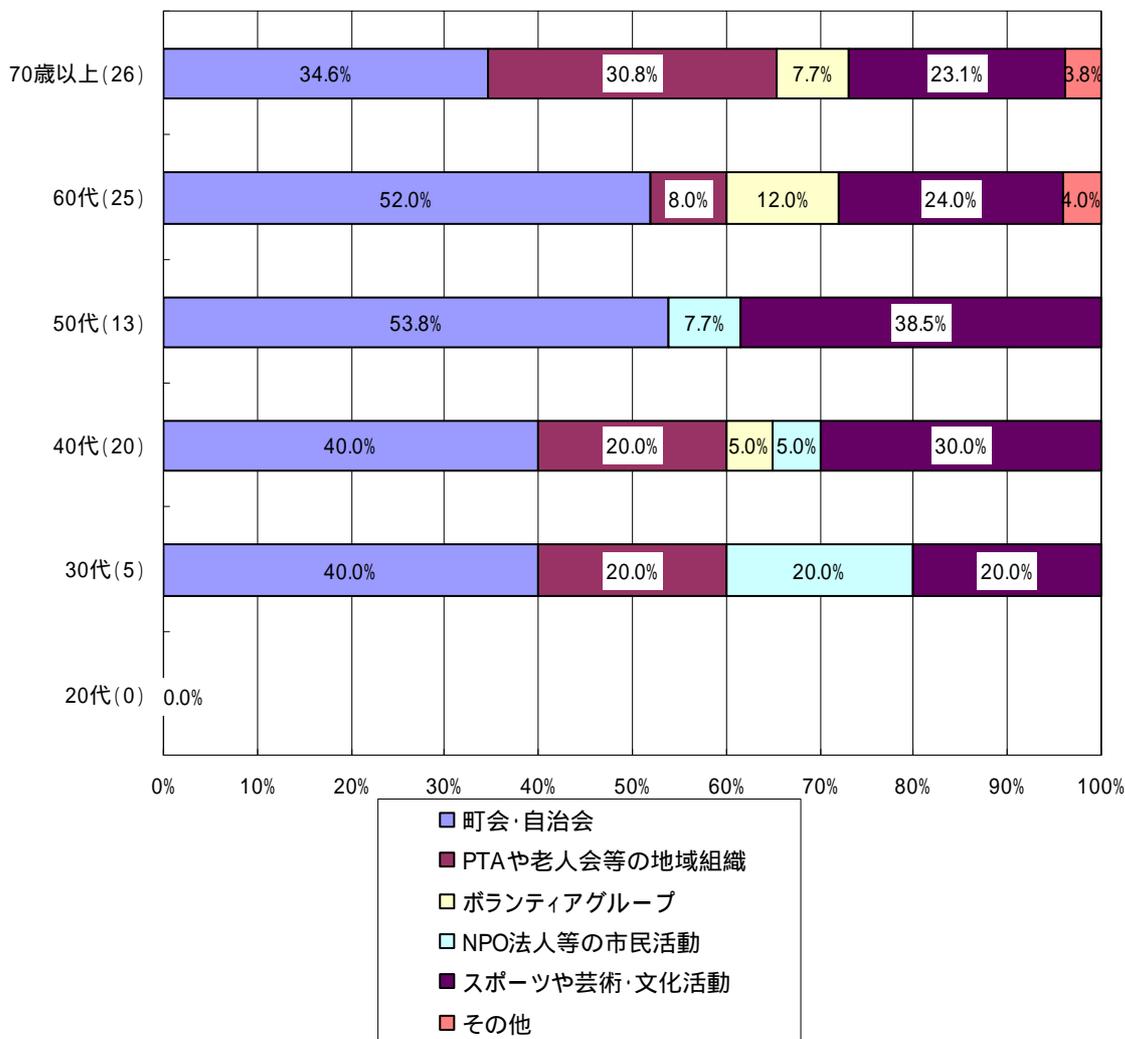
コミュニティ活動の内容について、「町会・自治会」が44.3%で最も多く、次いで「スポーツや芸術・文化活動」が27.3%、「PTAや老人会等の地域組織」が17%、「ボランティアグループ」が6.8%、「NPO法人等の市民活動」が3.4%と続いている。

《その他の主な活動》

寡婦・母子相談員等

アンケート ～年代別における傾向～

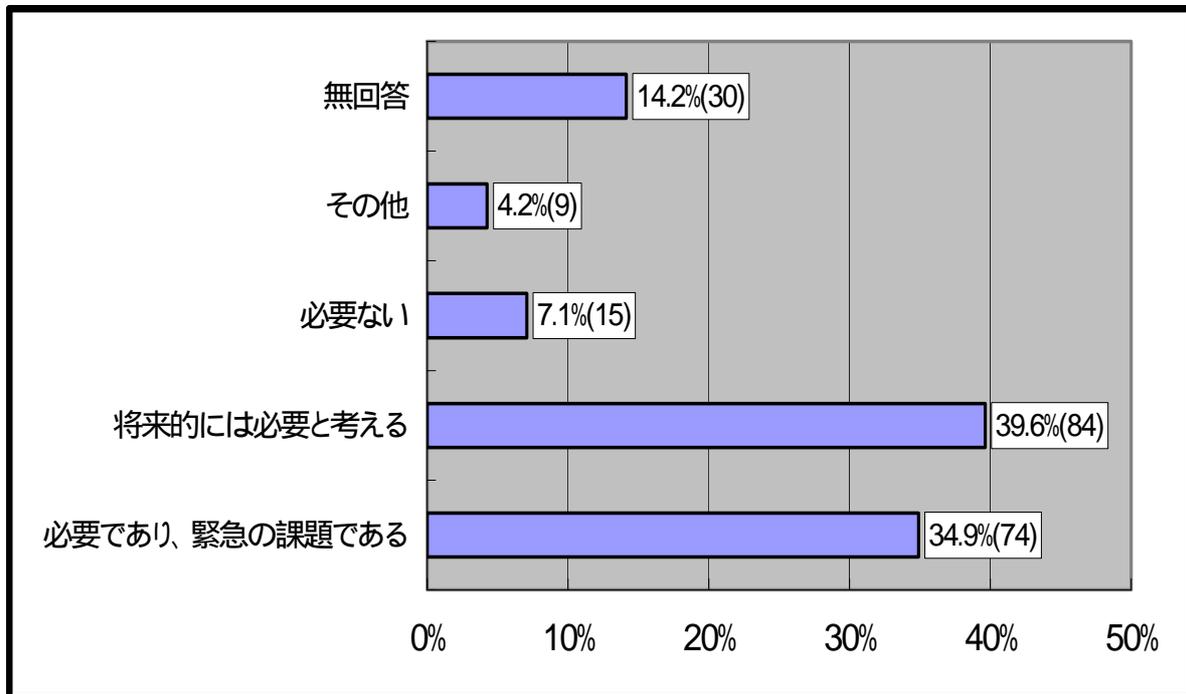
問9 問8で、1.しているとした方にお尋ねします。どのようなコミュニティ(集団)活動をしていますか。(所属しているものすべてに)



コミュニティ活動の種類について年代別にみると、各年代とも「町会・自治会」が最も多く、「スポーツや芸術・文化活動」「PTAや老人会等の地域組織」の順になっている。

30代では「NPO法人等の市民活動」20.0%となっており、60代では「ボランティアグループ」が12.0%となっている。

問 10 コミュニティの活性化は必要と考えますか。



全回答件数：212 件

コミュニティの活性化について、「将来的には必要と考える」が 39.6%で最も多く、次いで「必要であり、緊急の課題である」が 34.9%、「将来的には必要と考える」も含めて、必要という回答が 70%を超えている。

《その他の主な内容》

祭りやイベント等のため。

ある程度必要だが、活性化しすぎて重荷になっている。

コミュニティというのが初耳で、説明を読んでもイメージがわからず判断できない。

お上が組織して活性化させる性質のものではない。場所や情報提供があり、人がいれば自然と活性する。

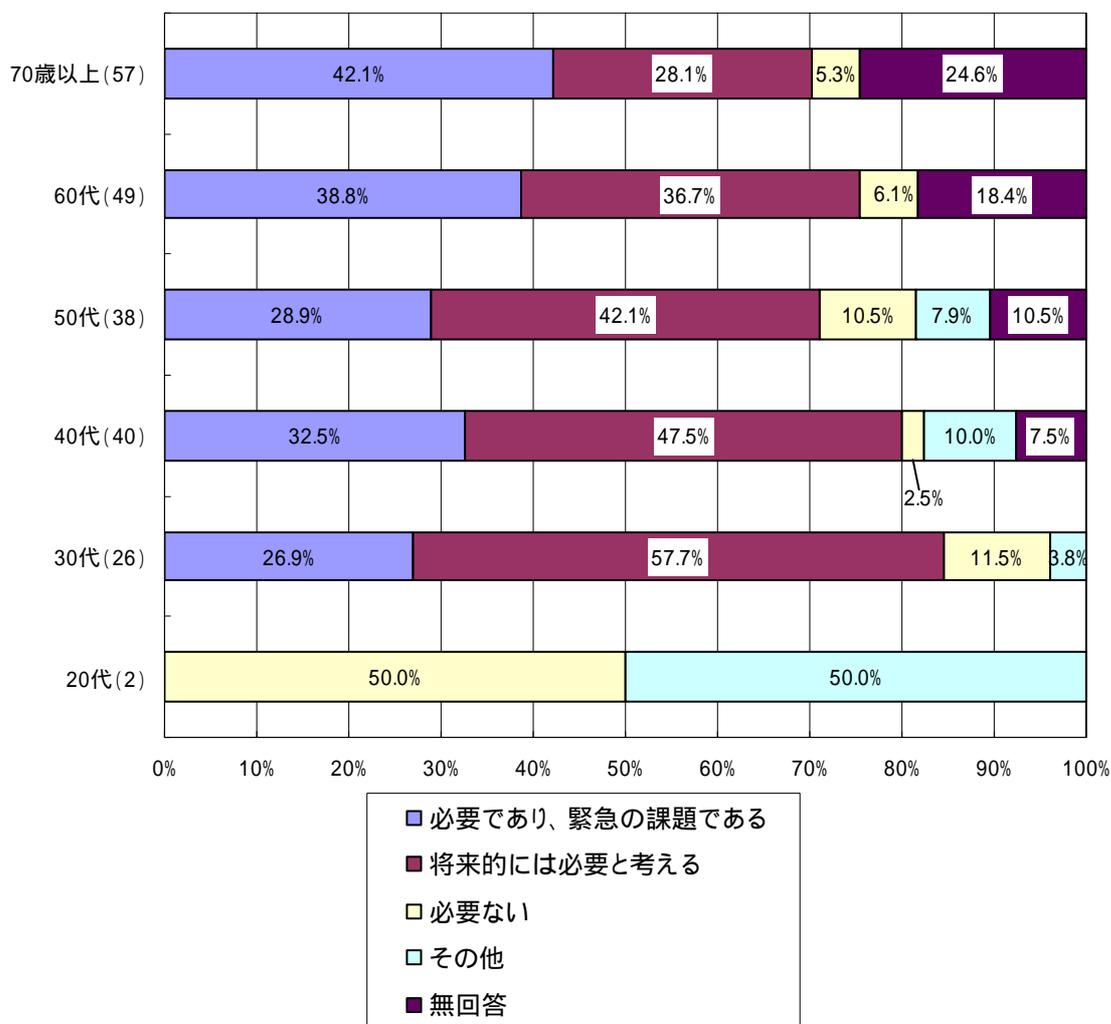
わからない。

将来的には必要かも知れないが、自分が参加するのは色々な面で煩わしい。

コミュニズムにまで行き過ぎなければ必要と思う。

アンケート ～年代別における傾向～

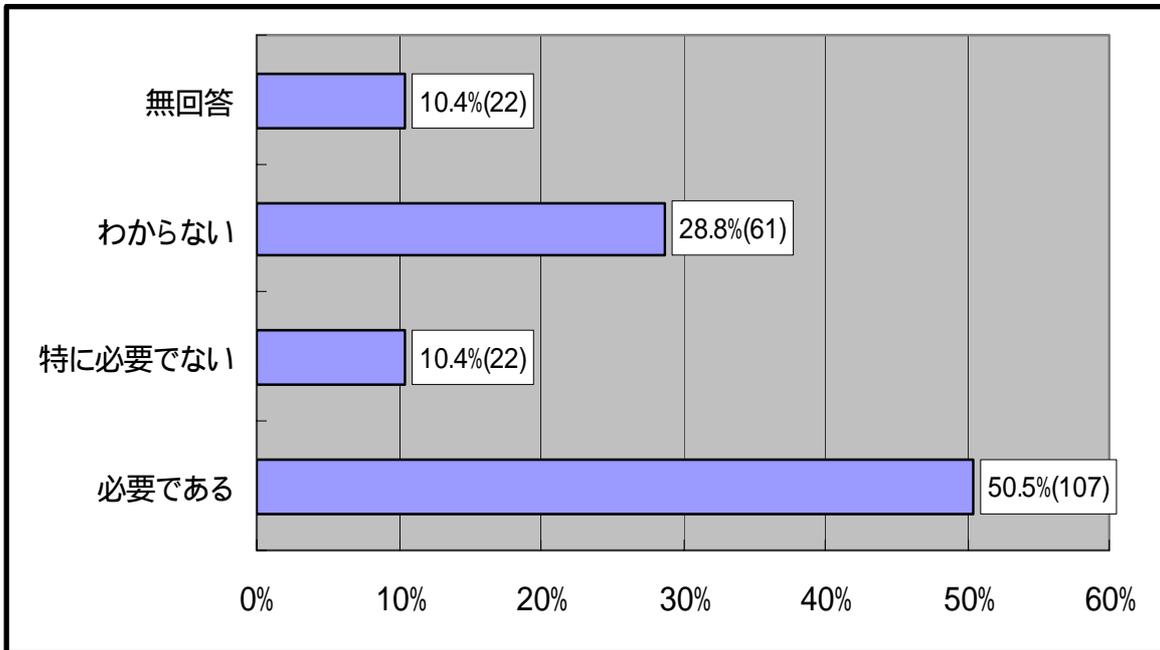
問 10 コミュニティの活性化は必要と考えますか。



コミュニティの活性化の必要性について年代別にみると、30代から50代において「将来的には必要と考える」が40%を超えている。

40代、60代、70歳以上においては、「必要であり、緊急の課題である」が30%を超えている。

問 11 コミュニティレベルにおける地域住民による自治の仕組みは必要だと考えますか。(あてはまるもの1つに)

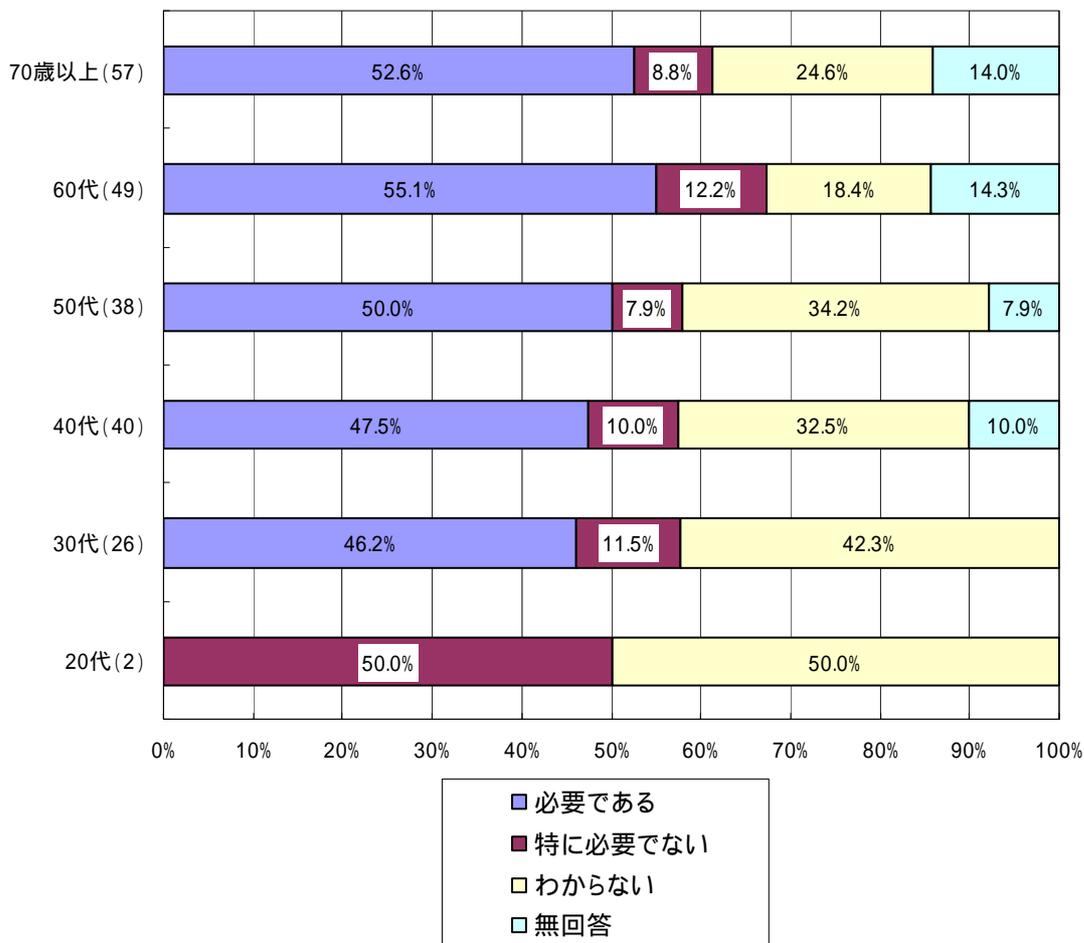


全回答件数：212件

コミュニティレベルの自治の仕組みの必要性について、「必要である」が50.5%と最も多く、次いで「わからない」が28.8%、「特に必要ではない」「無回答」がそれぞれ10.4%となっている。

アンケート ～年代別における傾向～

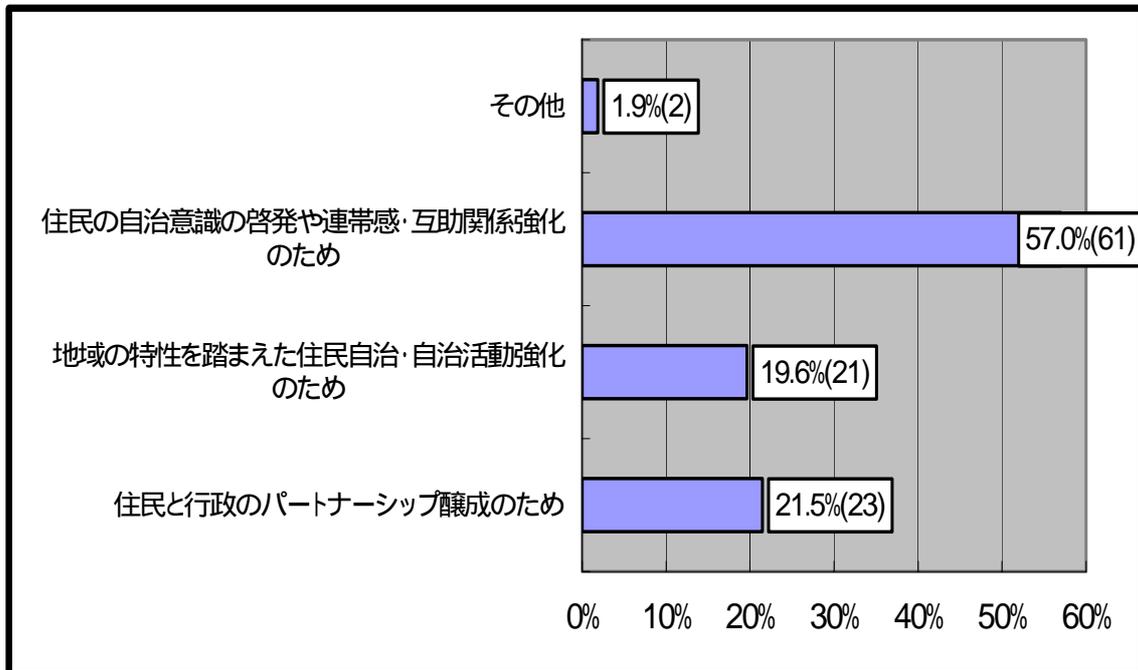
問 11 コミュニティレベルにおける地域住民による自治の仕組みは必要だと考えますか。(あてはまるもの1つに)



コミュニティレベルにおける自治の仕組みについて年代別にみると、20代、30代においては「わからない」の割合が40%を超えている。

30代から70歳以上においては「必要である」が40%を超えている。

問 11-1 必要だと思う理由は何ですか。(主なものを1つに)



全回答件数：107件

必要だと思う理由について、「住民の自治意識の啓発や連帯感・互助関係の強化のため」が57.0%と最も多く、次いで「住民と行政のパートナーシップの醸成のため」が21.5%、「地域の特性を踏まえた住民自治や自治活動強化のため」が19.6%となっている。

《その他の主な内容》

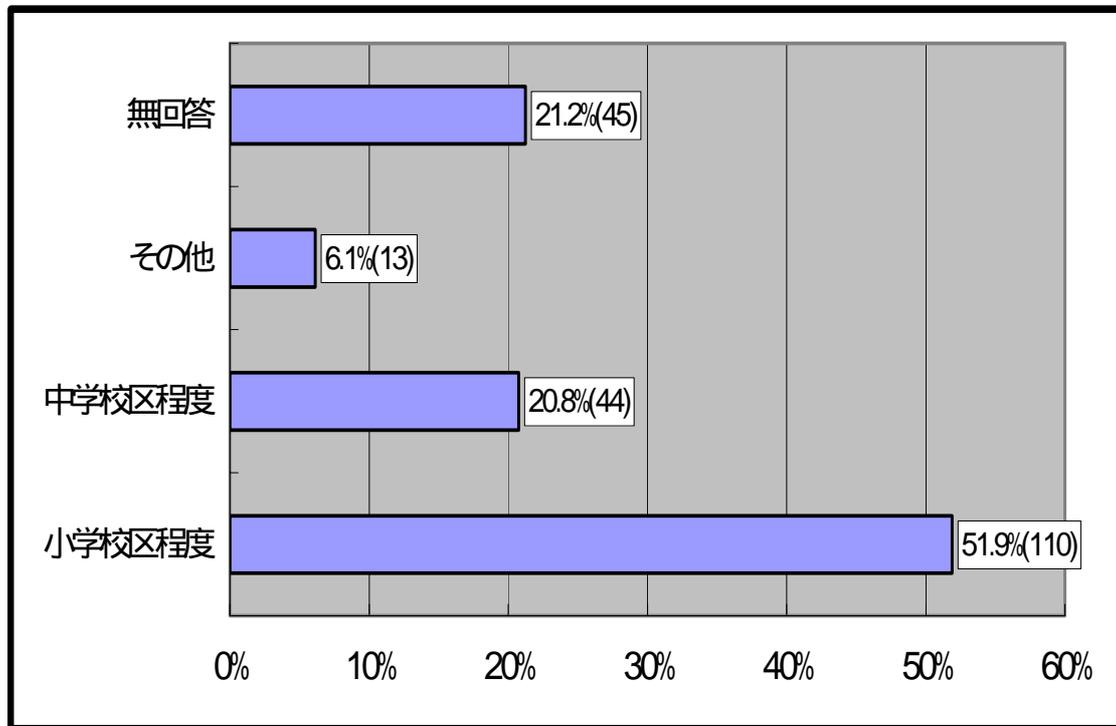
住民全員のアンケートをとる必要がある。大変な作業だと思いますが、今の時代ならできる研究をてほしい。

地域住民のため必要であるが、町会・自治会長の任期は1年とか2年とか短期でないと、色々と“垢”がたまり折角の地域活性化が沈滞化してしまう恐れがある。独裁はよくない。

防犯や治安維持の強化のため。

わからない。

問 12 今後、地域の活性化を考えていく上で、コミュニティの単位としてふさわしいと思う地域の範囲（広さ）はどのくらいと考えますか。



全回答件数：212 件

コミュニティの単位としてふさわしい地域の範囲について、「小学校区程度」が 51.9%、「中学校区程度」が 20.8%となっている。

《その他の主な内容》

それぞれの課題に対して、地域の広さは変わるものとする。

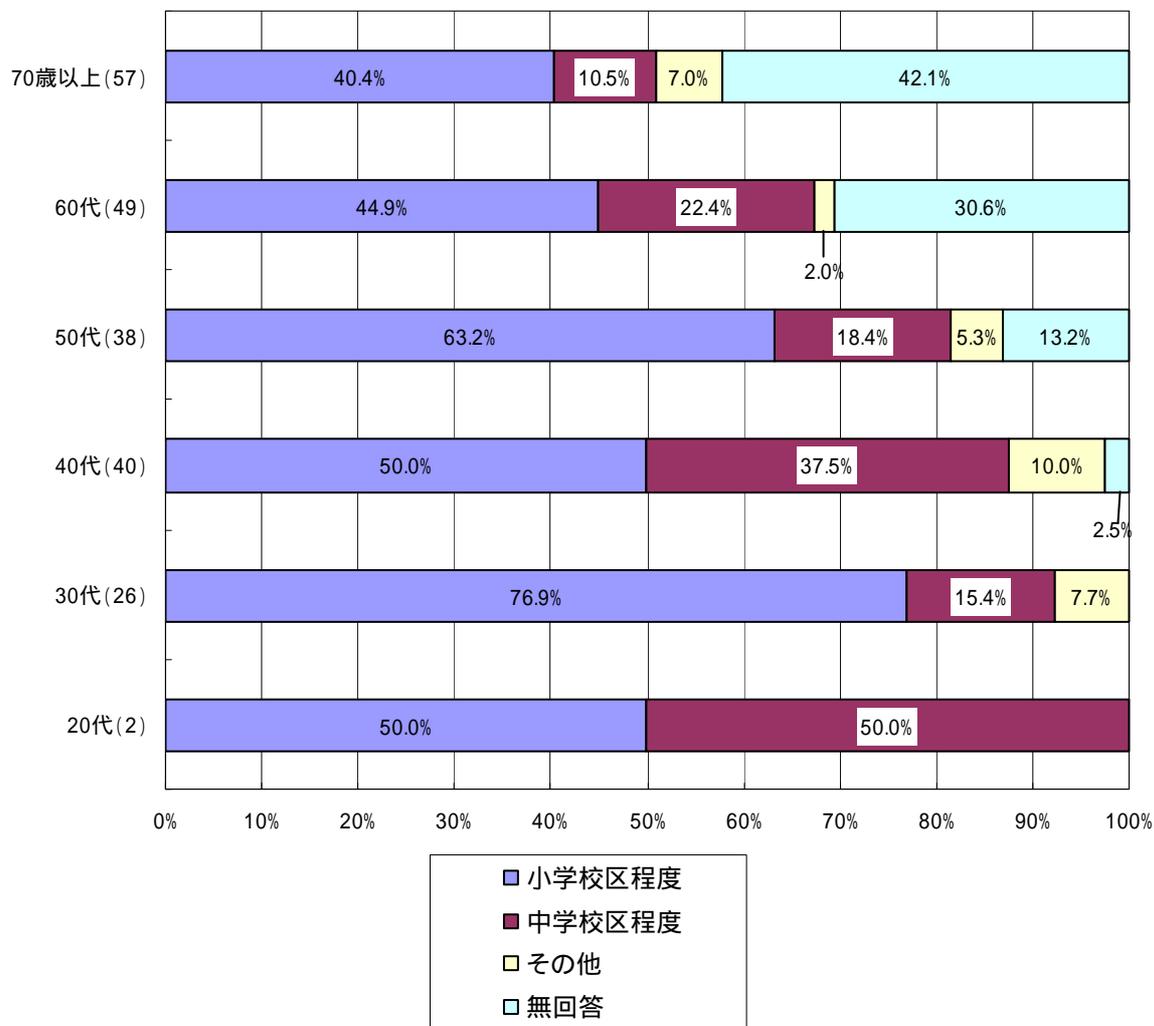
なるべく狭い範囲で密着型がよい。

わからない。

町会の範囲程度。

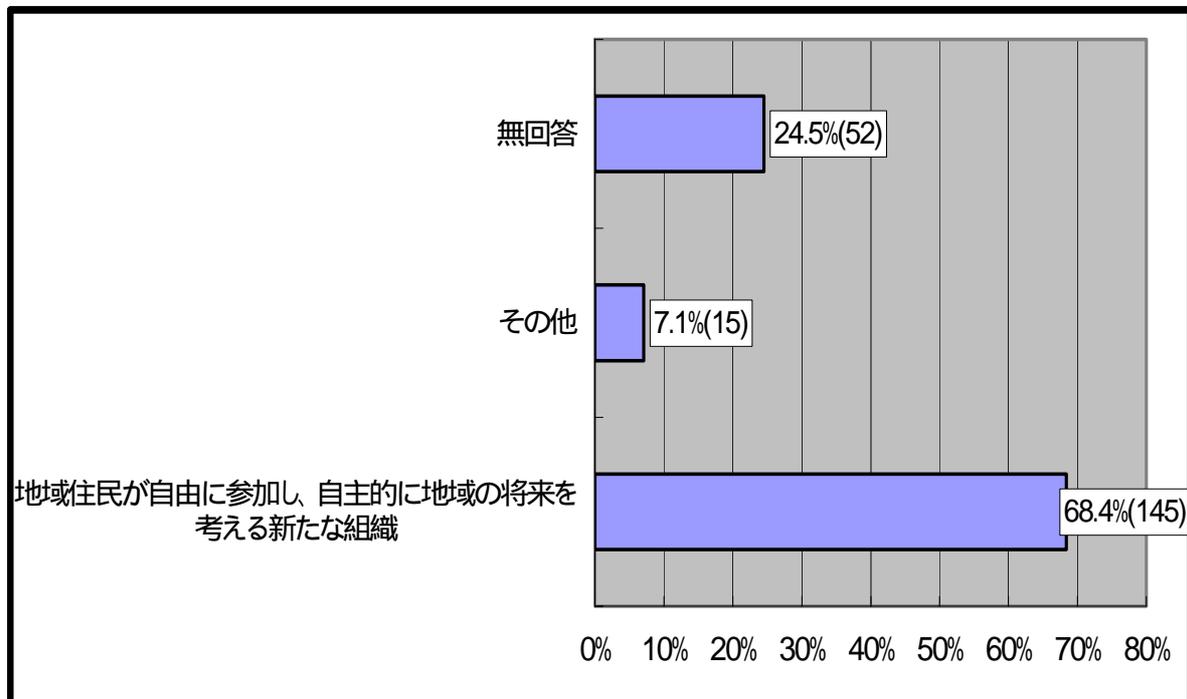
アンケート ～年代別における傾向～

問 12 今後、地域の活性化を考えていく上で、コミュニティの単位としてふさわしいと思う地域の範囲（広さ）はどのくらいと考えますか。



コミュニティの単位としてふさわしいと思う地域の範囲について年代別にみると、各年代とも「小学校区程度」が40%を超えている。
20代、40代においては「中学校区程度」が30%を超えている。

問 13 コミュニティの望ましい組織・形態はどのような形と考えますか。



全回答件数：212件

コミュニティの望ましい組織・形態について、「地域住民が自由に参加し、自主的に地域の将来を考える新たな組織」が68.4%、「その他」が7.1%となっている。

《その他の主な内容》

行政への参加を可能とさせる組織・形態。

町会単位の方が協力意識が高まる組織。

地域住民が参加しやすい、または参加する必要があるような組織。

災害対策等に見合った互助関係の育成・向上を推進できる組織・システムの構築が必要。

市政への直接参加。

現行の組織を活用すべき。

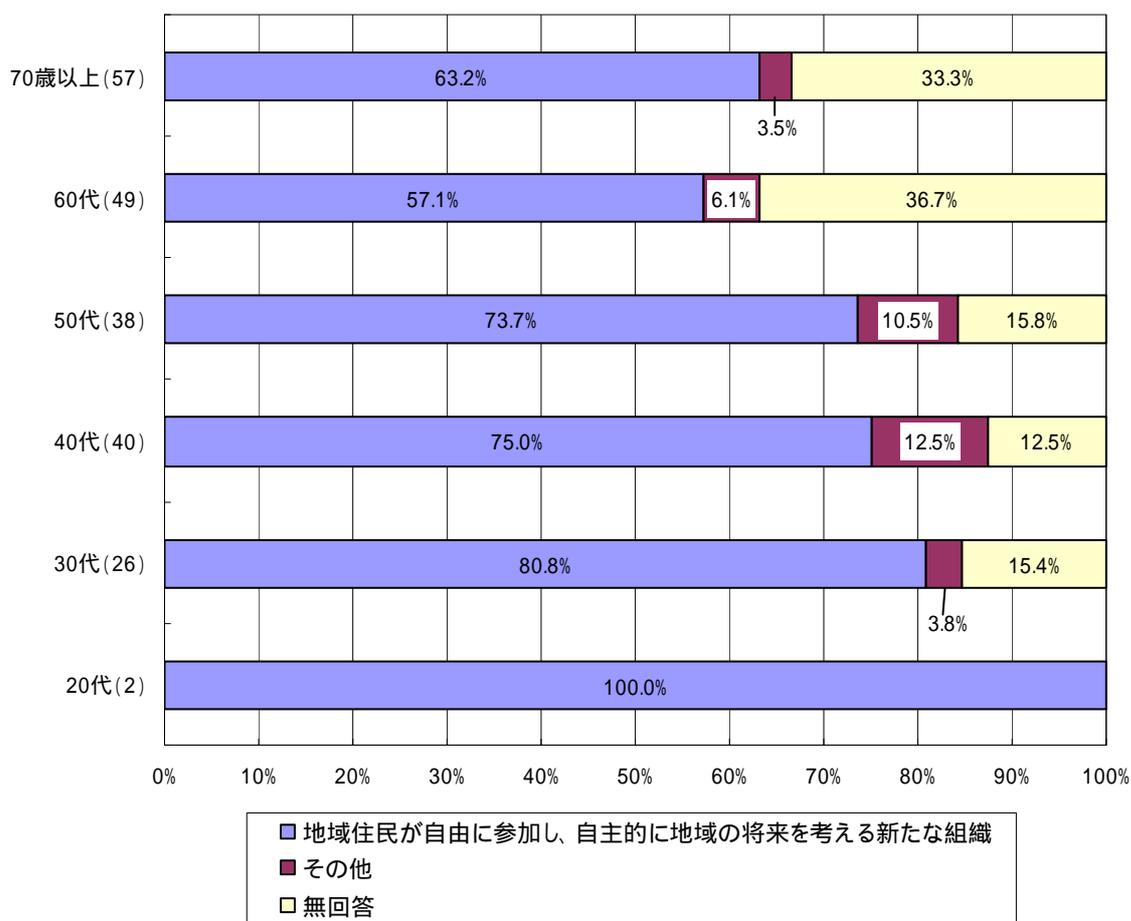
様々な組織（課題別、範囲による）がうまく連携できる形態。

わからない。

予算がある場合は、治安を良くするため、警察官を増やす。予算がない場合は規模を小さくして減税する。

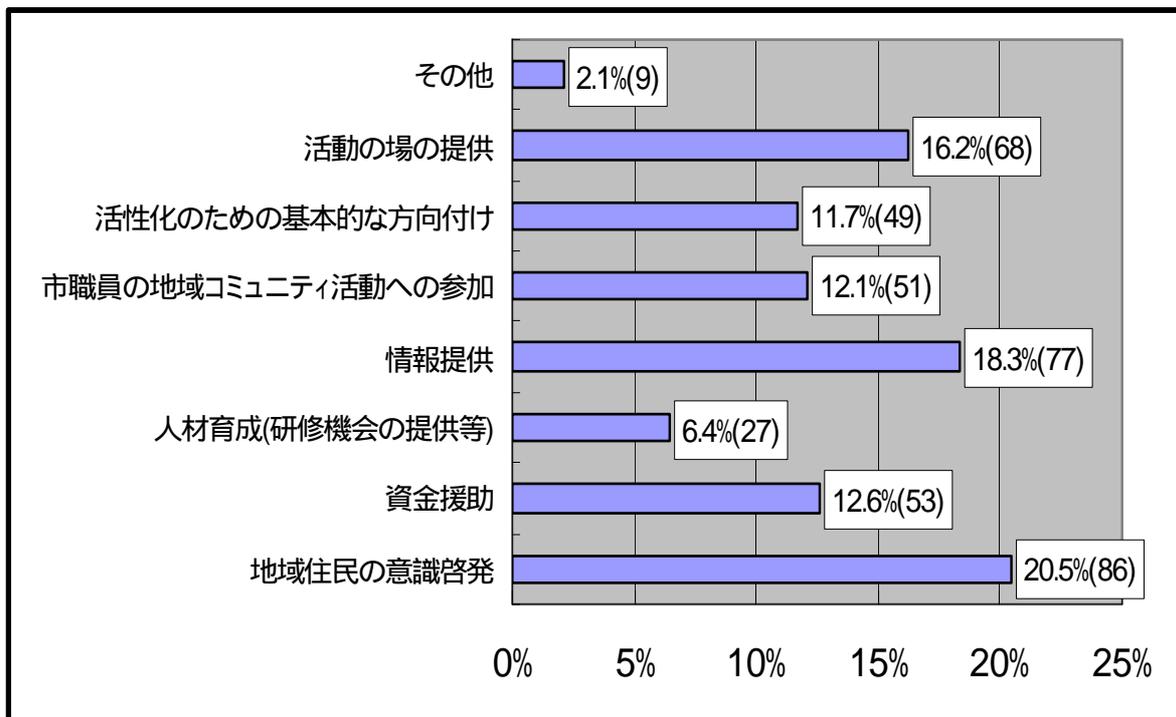
アンケート ～年代別における傾向～

問 13 コミュニティの望ましい組織・形態はどのような形と考えますか。



コミュニティの組織、形態について年代別にみると、各年代とも「地域住民が自由に参加し、自主的に地域の将来を考える新たな組織」の割合が非常に多い。

問 14 コミュニティの活性化のために行政に期待することは何ですか。(3 つまで)



全回答件数：420 件

コミュニティ活性化のために行政に期待することについて、「地域住民の意識啓発」が20.5%と最も多く、次いで「情報提供」が18.3%、「活動の場の提供」が16.2%となっている。

《その他の主な内容》

行政に対するコミュニティの参加を可能とする体制づくり。

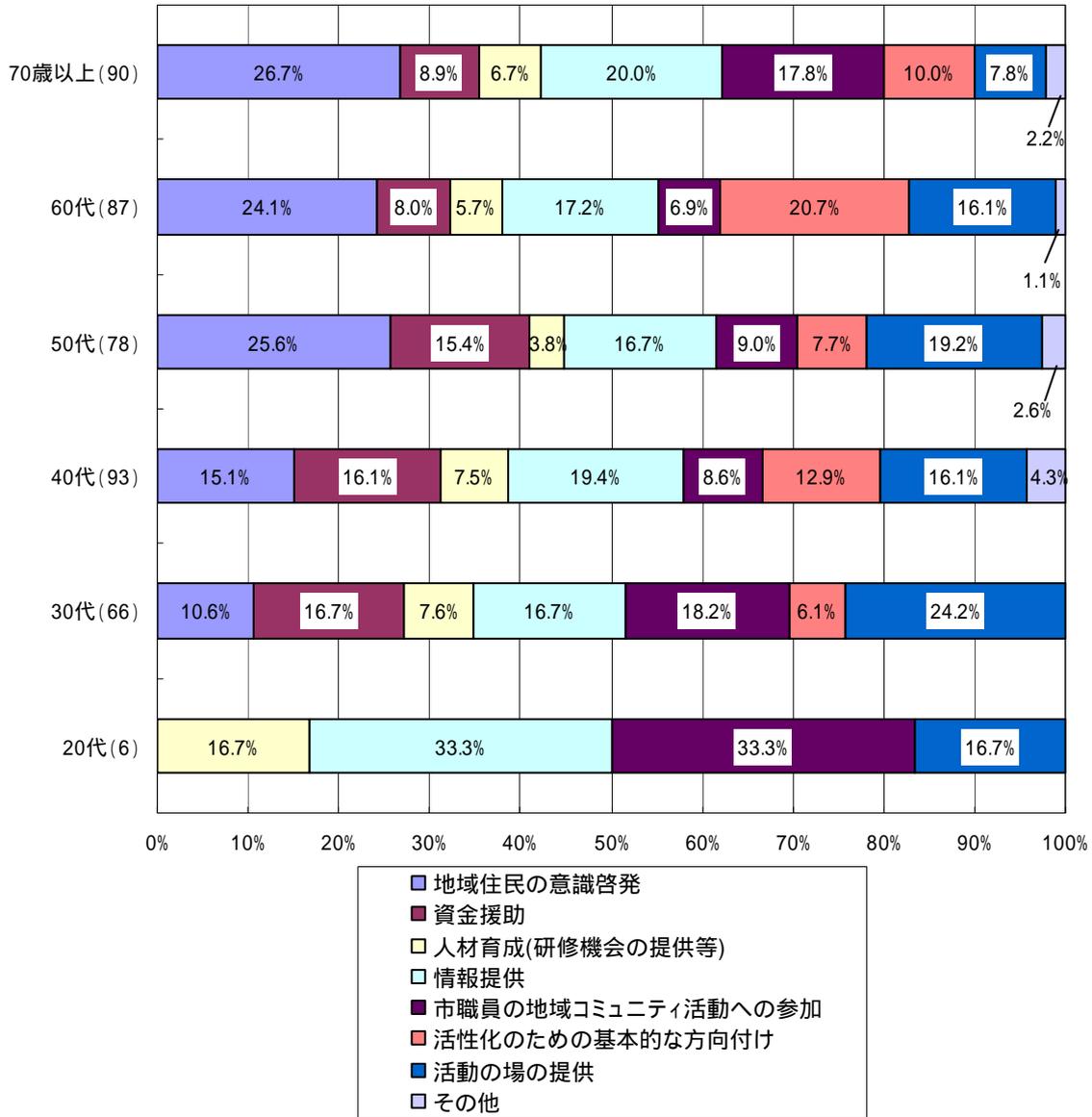
市職員はもっと市民の事情に通じてほしい。官僚制が存在する限り市政は無意味。

わからない。

行政に期待すること自体がナンセンスではないだろうか。

アンケート ～年代別における傾向～

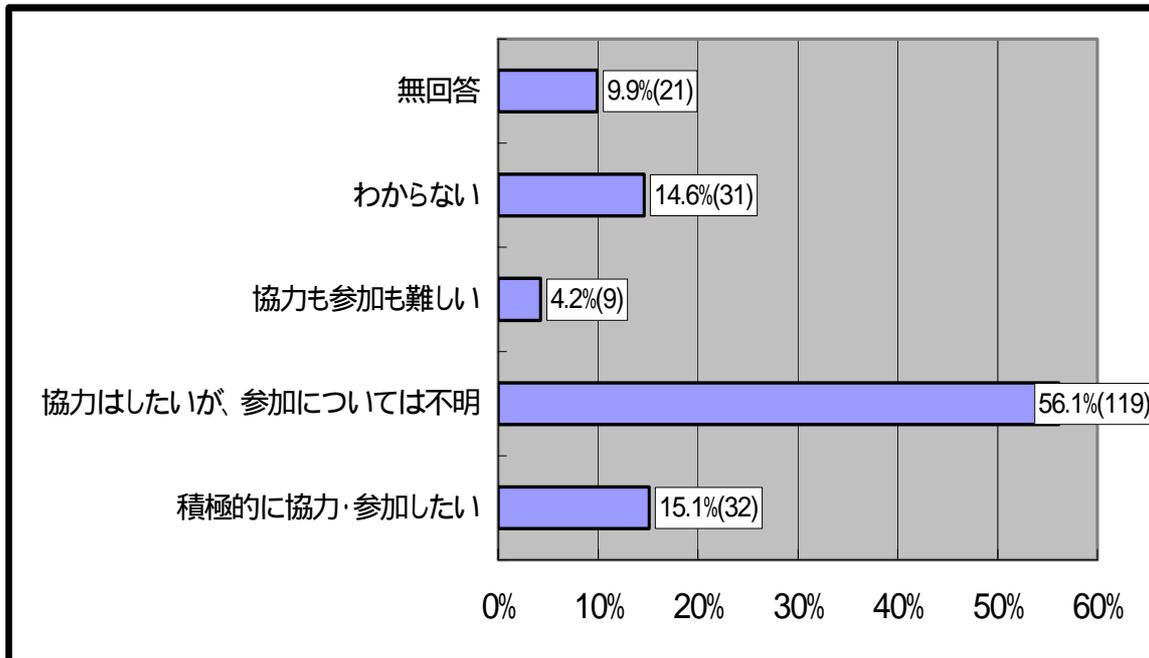
問 14 コミュニティの活性化のために行政に期待することは何ですか。(3つまで)



地域コミュニティの活性化のために行政に期待することについて年代別にみると、20代では「情報提供」と「市職員の地域コミュニティ活動への参加」がそれぞれ33.3%と最も多く、30代では「活動の場の提供」が24.2%と最も多い。

また、30代以降では「地域住民の意識啓発」の割合が多くなる傾向にある。

問 15 歴史・伝統・文化・自然・産業などの地域の特色や特徴、資源を活かしたより良い地域を目指すため、地域のまちづくり計画（コミュニティ計画）を市民自らの手で作る機会があれば、協力や参加をしてみたいと思いますか。



全回答件数：212件

コミュニティ計画作成への協力・参加について、「協力はしたいが、参加については不明」が56.1%と最も多く、次いで「積極的に協力・参加したい」が15.1%、「わからない」が14.6%となっている。

問 16 コミュニティの振興について自由にご意見をお書きください。

昨年まで仕事が多忙だったので、活動には参加できなかった。これからは、仕事をやめて年金生活になったので従来より時間はできたが、自分の趣味に没頭しているのでそれほど時間はない。

健康教室を作してほしい。

コミュニティが具体的に効果を出せるような、行政の中での位置づけが必要であると思います。

コミュニティの振興として、福生市においても囲碁クラブを作ってもらいたい。

高齢化の進む社会で元気に明るくなるべく若い人たちに負担をかけないように、同世代で助け合って生きるべきと思っていますので、現在も色々頑張っています。知人とは色々話しますが、なかなか難しいことです。テレビ・ラジオだけでは、見てるだけの人が多いと思います。

市民が身近に関心を持てる情報こより、参加を自由にできるコミュニティを望みます。

歴史・伝統・産業等とは異なる自然環境の保護。

ビジネスマンライフが長かったせいか、未だにその時代の関係者達との付き合いが定期的に続いている。福生に移住して数年になるので近所にもそれなりに親しい方はいるが、なかなか行事その他の活動に参加できないでいる。今後は少しずつ協力していくつもりだ。

高度成長期時代、都営敷地内にモータークラブが線を敷き、公道に車を置いたのはモータリゼーションの発展により仕方がなかった。しかし、時代は変わった。防火、防犯、車の非所有者との不公平問題など解決すべき点に市も警察も目をつぶってきた。都の敷地の中に私有の畑を耕作する人も同様。表立って非難できない凡庸な人々の搔痒感を理解せずに表面のデータだけで施策を策定しても参画意識は向上しないと思う。欲に手足の生えた人間同士がいかに折り合ってユートピアに近い社会を作ってゆくのか、期待したい。敷地の車も畑も明らかにルール違反、しかし難問には関わりたくない施政者には問題がある。八方に目を配るべきだ。

福生市が、行政指導的に市全体のコミュニティ計画を立てることで市民が平等に参加できるようにする。町会、自治会では無理です。

コミュニティ、地域という言葉の定義がわかりません。活動の内容によって様々な捉え方ができると思うので、無理にその単位を決める必要はないと思います。質問全体が漠然としていて答えにくかった。

設問全体が漠然としていて答えにくかった。

高齢を健康上の理由により、積極的な参加が出来にくいので広報等でのPRまた小範囲での参加しやすいコミュニティ活動の啓蒙。

災害、水害火事等あった時、地域のコミュニティは必要だと思います。

コミュニティから外れた意見ですが、老人等が様々なところへ芸術、文化、あるいは地域の活動など出かける為に市内にシャトルバスを運行してもらえたら、多くの方に喜ばれるのではないのでしょうか。（役所、市民会館、体育館、銀行、郵便局等）

今は具体的なイメージが持てない。

地域のためにと意識の高い人々が集うはずが、一部の人のボス化というか強制的になってきたり、派閥が出来たりという本来の目的からずれてしまうことが起きたり、人間関係が問題になることも多いため、このような（自治、町内コミュニティなど）ことに参加を拒む人もいるかと思う。

催しの時、何かお手伝いする事があるかお聞きしたら、人手があるからお茶くみくらいで特に用はないと言われた。もう参加する気持ちはない。知人が他の地区に移り町会に入らないと、その人の孫は色々な催しに参加することは出来ないと言われたそう。募金等お金を集めることは出来ればしたくない（年を重ねると特に感じると思う）何か別の方法はないか。

嫌々やっても活性化は臨めない。

地域活動・自治活動は必要に応じて自然発生的に生まれてくるはずのもの。他の援助や指導によって作られれば半義務的となり、必要を感じなくなる人が多くなるだろう。まして、行政が介入するコミュニティ作りなどというものは、行政側の手抜きのための手助けとしか考えられない。

グラウンド（場）の提供だけで、干渉すべきではない。このようなアンケートをすること自体疑問を感じる。